



平成 22 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 太平洋セメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 徳植 桂治
(コード番号 5233 東証第 1 部、福証)
問合せ先 総務部長 吉田 道夫
(TEL 03-5531-7334)

特別損失の発生に関するお知らせ

平成 22 年 3 月期決算において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業構造改革費用の計上

当社は、2011 年度以降の持続的成長に向けた基盤を整備するため、事業構造改革に着手することを決定しました。

これにより事業構造改革費用として平成 22 年 3 月期個別決算において 330 億円程度、連結決算において 340 億円程度の特別損失を計上する予定です。

なお、事業構造改革に関する内容につきましては、「中期経営計画の修正および事業構造改革に関するお知らせ ～2011 年度以降の持続的成長へ向けた基盤を整備～」を本日公表しております。

2. 貸倒引当金繰入額（特別損失）の計上

当社の関係会社等の財政状態を精査し、債権の回収可能性について保守的に判定した結果、個別決算において、主に連結子会社への貸付金などに対して貸倒引当金繰入額 65 億円を計上する予定です。

なお、連結決算において損失の大半が相殺消去されますので、連結業績への影響は僅少です。

3. 投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の計上

当社が保有する投資有価証券及び関係会社株式のうち、時価が簿価に比べて著しく下落し、その回復が困難であると認められたものについて、平成 22 年 3 月期決算において減損処理による投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損を計上する見込みです。

平成 22 年 3 月期の投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の総額（概算）

	連結	個別
(A)平成 22 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 22 年 1 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)の投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の総額	0 億円	56 億円
(イ)平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)の投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の総額	4 億円	59 億円
(ロ)直前四半期(平成 22 年 3 月期第 3 四半期)累計期間(平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで)の投資有価証券評価損及び関係会社株式評価損の総額	3 億円	2 億円

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

※四半期における有価証券の評価方法は洗替え方式を採用しております。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	連結	個別
(B) 平成 21 年 3 月期末の純資産の額	2,200 億円	1,449 億円
(A/B×100)	0.0%	4.0%
(イ/B×100)	0.2%	4.1%
(C) 最近 5 事業年度の経常利益平均額 (注)	395 億円	138 億円
(A/C×100)	0.2%	41.2%
(イ/C×100)	1.1%	43.1%
(D) 最近 5 事業年度の当期純利益の平均額 (注)	136 億円	23 億円
(A/D×100)	0.7%	245.7%
(イ/D×100)	3.1%	257.6%

(注) 平成 21 年 3 月期の経常利益及び当期純利益が 10 億円未満のため、最近 5 事業年度の経常利益及び当期純利益の平均額(赤字の事業年度については赤字額の大きさを問わず 0 として平均を計算) を記載しております。

4. 今後の見通し

本日、連結決算及び個別決算の通期業績予想につきまして修正しております。

以 上